

タイに現地法人を設立し、エンジン製造ラインの自動化とロボット技能者の育成を支援

●タイ

三明機工株式会社 代表取締役社長

久保田和雄さん

Kazuo Kubota



久保田和雄さん



サンメイ・メカニカル・タイランドのロボット

三明機工株式会社

静岡市清水区袖師町940

☎054-366-0088

<http://www.sanmei-kikou.co.jp>

ニッチ市場でのオンリーワン
企業をめざして

三明機工(株)は、三明グループの機械設計製作部門を担っています。当初は、鑄造プラント材料供給装置や工場のFA化に力を注いでいましたが、「小さくてもメーカーとして、ニッチな市場でオンリーワン企業になる」ことを目標に、他社が模倣できない独自技術を持つこと、お客様に高い付加価値を提供することをめざしてきました。

2000年には、米国の大手ガラスメーカーから打診を受けて、液晶パネルに使うガラス基板搬送システムの開発に台湾のガラスメーカーと共同で取り組み、1号機を台湾の大手液晶パネルメーカーに納入することができました。これを契機に台湾の液晶パネルメーカー各社との取引が始まり、当社のガラス基板搬送システムは、台湾で業界標準になりました。

25年前から若手社員に
ロボットティーチングの研修

当社では、モノを動かす装置がロボットに変わっていくと想定し、1987年から若手社員にロボットティーチング(産業用ロボットのプログラムを作成する方法)を学ばせていました。

その結果、1993年には、自動車のエンジンがアルミ化されるなかで、ダイカストマシン周辺をロボットで全自動化するシステムを開発できました。

現在では、日系自動車メーカーがエンジン工場を開設する時には、当社のシステムが採用されるようになりました。

中国、韓国、アメリカ、メキシコ、ブラジルなど海外工場にプラントを納入する際には、社員を1カ月〜3カ月間派遣して、プラントの据え付けと試運転を行います。で、常時、十数名の社員が海外に出ている状況です。

2012年6月、
タイに現地法人を設立

プラントの納入後も、当社のアフターサービスを求められるため、2012年6月10日、タイに現地法人サンメイ・メカニカル・タイランドを設立。タイむけプラントは、日本で(いずれは現地で)設計し、タイの協力工場に部品の加工を依頼し、当社のタイ工場に組立し検査をして出荷しています。

工場建設と同時に、現地の日系自動車メーカーから、二輪車工場のエンジンプラントや大型ダイキャストマシン周辺の全自動ラインを受注しました。タイでは2012年4月から最低賃金が40%上昇し、工場の自動化への機運が高まっています。

このため、タイ工業省と連携し、アマタナコン工業団地の職業訓練校に「ロボットアカデミー」を来年4月に開校し、ロボットティーチングのできる人材を育成していくよう目下準備しているところです。